

# 平成 28 年度 第 8 回とやま建設フォトコンテスト

## 総 評

当コンテストは今回で 8 回目を迎えました。応募者は 16 才～82 才までと幅広い層から多彩な作品、そしてレベルの高い作品が多数寄せられました。応募数 135 点の内入賞作品 7 点を審査員 5 名で慎重に審査しました。

入賞作品は、当コンテストの趣旨に沿った内容の高い作品ばかりです。

審査委員長 堀田信一  
(富山県写真連盟委員長)

## 第 8 回とやま建設フォトコンテスト概要

募集時期 平成 28 年 9 月～平成 29 年 1 月  
主 催 (一社)富山県建設業協会  
後 援 富山県、富山県建設産業団体連合会、  
東日本建設業保証(株)富山支店  
応募点数 135 点  
入賞作品 7 作品

## 募集部門

- 働く人部門……建設業で働く人々が、いきいきと誇りを持って物づくりに携わる姿等をとらえた作品
- 物づくり部門…建造物や建設機械などを対象に、建設産業のスケールの大きさや重要性等をとらえた作品。
- 絆部門……除雪活動や防災対策など、建設業と地域のつながり、人々の安心安全を守るために担っている役割・活動をとらえた作品

## 特 選

【松川雨水貯留管】 山田 正昭 (撮影場所:富山市)

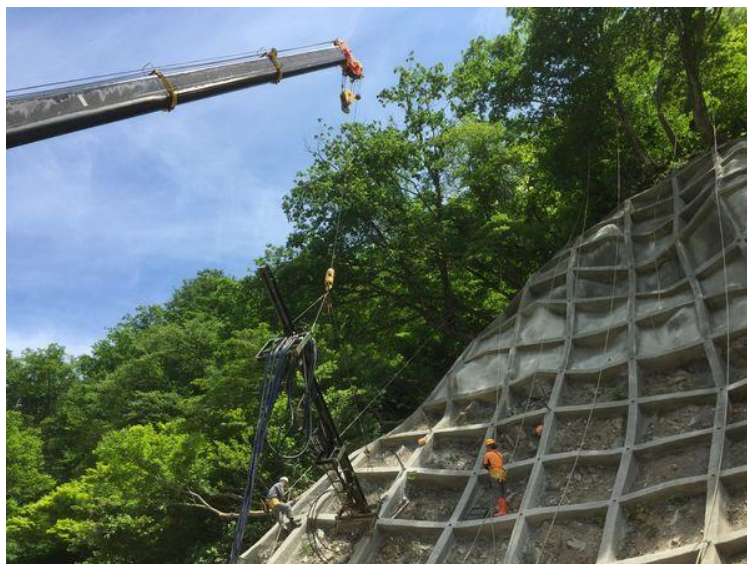


災害時冠水しないようにとの目的で建造された地下の貯留管、市民の安全を守る大切な構造物を安定した構図で表現しました。丸みを帯びたトンネルで奥行き感を出すなど画面構成のうまさが光ります。

## 働く人部門賞

【合図と調整】 水島 哲朗  
(撮影場所:魚津市)

山腹の法面の崩壊防止と緑化の工事、災害を未然に防ぐために重機を扱う作業員の方々の真剣な様子と現場の緊張感が伝わってくる良い作品です。



## 物づくり部門賞

【湖上の橋】 高田 孝悦  
(撮影場所:南砺市)

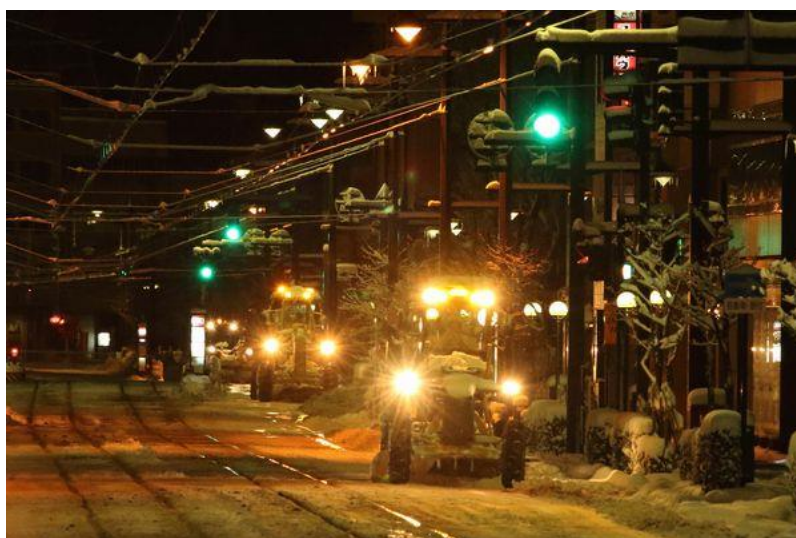
生活に必要な道路建設、湖上に懸かる工事途中の橋の中の赤いパイプラインが目を引きます。暗い背景を選んだことで橋と湖上を走る船が強調されました。また航跡がきれいです。



## 絆部門賞

【夜明け前の電車通り】  
松為 幸夫  
(撮影場所:富山市)

市民の足や生活そして安全安心を守るため朝早くから除雪作業を行う様子がよく表現されています。信号の青と除雪車のオレンジ色の光が、画面を彩っています。





## 佳作

【期待の星】野原 一司

(撮影場所:南砺市)

あらゆる業態において人手不足が深刻化している中、建設業においても例外でないと思います。もっと女性が活躍する場があって欲しいと思います。その中でこのヘルメット姿の女性に注目しました。

## 佳作

【人気沸騰中】久木 地平

(撮影場所:富山市)

グラウンド造成工事の説明会に集まったたくさんの生徒のさまざまな表情や思いが映し出されています。将来この中の何人かが建設業に携わってくれることを願っています。



## 佳作

【揚げる】高畑 訓

(撮影場所:富山市)

今年開館予定の工事中の【富山県美術館】。現在外観をはじめ建物は一部を残して完成しているようですが、富山を代表する建築物として取り上げました。